



エネルギークイズ

ECO通信 Vol.12



過去のECO通信は
こちらから

エネルギークイズにチャレンジ



今回の「ECO通信」は情報センターの仲間たちがクイズを出題するぞ！
これまでの「ECO通信」の内容から出題されておるぞ。
全問正解をめざして、さっそく挑戦じゃ。

Q.1 「放射能」という言葉の意味はどちらかな？

- ①放射線を出す物質のこと ②放射線を出す性質のこと



くりす
クリとかくれんぼが大好きなリス



Q.2 放射線がどれだけ人体へ影響するかを測る単位は？

- ①ベクレル ②グレイ ③シーベルト

Q.3 日本人の1年間に受ける自然放射線の
量はどのくらいかな？

- ①約0.022ミリシーベルト ②約2.1ミリシーベルト
③約3.87ミリシーベルト



おぶー
沼にすむ伝説のいきもの



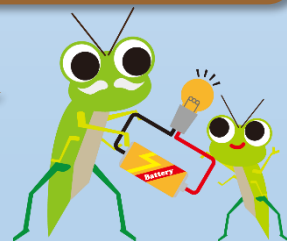
Q.4 現在の日本のエネルギー自給率は？

- ①約12.1% ②約20.2% ③55.0%

へびたろう
森をかん視する番人

Q.5 日本の発電電力量が一番多い発電方法は？

- ①原子力発電 ②火力発電 ③太陽光発電



Q.6 いま使っている電気はいつ作っている？

- ①3日前 ②1日前 ③今

しわろじお
このあたりの森を支配する
空のハンター

Q.7 電気の需要に応じて供給力を調整しているのはどれ？

- ①太陽光発電 ②火力発電 ③風力発電



あかねん
森の仲間と自由気ままに
生きている赤とんぼ



何問できたかな？ 答えは裏面をチェックじゃ！

エネルギークイズ 答えと解説

Q1. ②放射線を出す性質のこと

放射線、放射能、放射性物質、似てるようで言葉の意味はすべて違います。
「放射線」を出す性質を「放射能」、放射線を出す物質を「放射性物質」といいます。

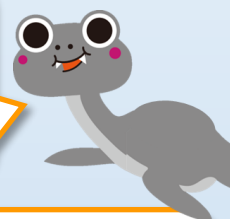


Q2. ③シーベルト

放射線の単位には、放射線を出す能力(放射能)に注目した単位「ベクレル」とその放射線のエネルギーの量に注目した単位「グレイ」、放射線を受ける方に注目した単位「シーベルト」があります。

Q3. ②約2.1ミリシーベルト

地球が生まれた時から放射性物質は存在し、空気中・大地・食べ物・宇宙からの自然放射線を、人類は地球上に誕生して以来、常に浴びて生きています。日本人の1年間に受ける自然放射線の量は、約2.1ミリシーベルトです。



Q4. ①約12.1%

日本は、石油や天然ガスなど資源に乏しい国です。発電に必要な資源のほとんどを輸入に頼っています。

Q5. ②火力発電

日本のエネルギーは、石油・石炭・天然ガスなど化石燃料に大きく依存しており、全体の8割以上を占めています。



Q6. ③今

私たちが普段使用している電気は、大量に貯めておくことができないため、「電気を使う量」と「電気を作る量」を一定に保つ必要があります。
電力会社では、24時間、電気の使われ方を監視して、必要に応じて出力を調整できるように常に待機しています。

Q7. ②火力発電

火力発電や原子力発電は、電気の需要に応じて出力を調整することが得意な発電方法です。反対に、太陽光発電や風力発電は、天候や季節によって発電量が変動します。太陽光発電や風力発電で電気を作れない時は、主に火力発電の出力を上げて供給力の調整を行います。



いくつ正解できたかの？

分からなかった問題は、これまでのECO通信を読んで確認するのじゃ！過去のECO通信は、情報センターのホームページでいつでも読むことができるのじゃ！

下記URLか、右の二次元コードを読み込んでさっそく確認じゃ！

<https://cic.g-kikaku.jp/kouza/eco-school/eco-tsushin/>

過去のECO通信は
こちらから

